

令和3年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
人間発達学		講義・演習	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>人間は生涯にわたり心身の構造や機能が変化していくものであり、人間発達学ではその変化を広く発達と捉えている。それぞれの発達期においてどのような発達過程にあり、発達課題はどのようなものなのか理解することを目的とする。特に理学療法に必要な基礎知識として正常運動発達について深く理解することを目的とする。</p>				
授業の到達目標				
<p>1. 胎生期・小児期の成長、発達全般を説明できる。2. 出生から歩行獲得までの運動発達の質的变化を理解できる。3. 運動発達のマイルストーンを説明できる。4. 胎生期から老年期までの変化を発達と捉えることができる。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	人間発達学総論			
2	胎生期の発達			
3	出生・新生児期			
4	小児期の身体的成長と成熟・発達評価			
5	正常運動発達総論・姿勢反射			
6	正常運動発達(1)			
7	正常運動発達(2)			
8	正常運動発達(3)			
9	正常運動発達(4)			
10	正常運動発達(5)			
11	正常運動発達(6)			
12	微細運動・目と手の協調性			
13	その他の分野の発達			
14	小児期以降の発達			
15	小児期以降の発達 まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%			
レポート				
小テスト				
平常点	10%	出席状況、授業に取り組む姿勢・態度		
その他	30%	課題については内容と提出状況を評価する。形式や提出期限を守らない場合は減点する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 人間発達学 第2版	岩崎清隆		医学書院	
自由記載	随時資料を配布する			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				